

エネルギー・資源（第43巻）総目次 2022年 Vol. 43 No. 1～6

・分類は下記によった。

(1) 巻頭言	(2) 新春座談会	(3) 論文賞	(4) 論説
(5) 展望・解説	(6) 特集	(7) シリーズ特集	(8) 研究論文要旨
(9) 技術論文要旨	(10) 研究者・実務者のためのエネルギー・資源講座	(11) 歴史の散歩道	(12) 見聞記
(13) 活動報告	(14) 書評	(15) 技術・行政情報	(16) 談話室

(1) 巻頭言

(題 目)	(所 属)	(執筆者)	(頁 数)
2050年までに何ができるか？	エネルギー・資源学会	下 田 吉 之	Vol. 43 No. 1 - 1
カーボンニュートラル社会における水素の使われ方	エネルギー・資源学会	永 田 豊	Vol. 43 No. 1 - 2

(2) 新春座談会

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて	国立環境研究所	亀 山 康 子	Vol. 43 No. 1 - 3
	日本エネルギー経済研究所	工 藤 拓 毅	
	エネルギー総合工学研究所	黒 沢 厚 志	
	電力中央研究所	永 田 真 幸	
	(司会) 筑波大学	岡 島 敬 一	

(3) 論文賞

論文賞を受賞して	豊田中央研究所	石 川 裕 幸	Vol. 43 No. 4 - 1
	〃	小松原 充 夫	
	〃	原 卓 也	
	〃	志 知 明	
論文賞を受賞して	東京工業大学	武 埴 浩太郎	Vol. 43 No. 4 - 2
	〃	岡 崎 健	
	〃	野 崎 智 洋	

(4) 論 説

エネルギー産業 2030年への戦略 - Utility3.0の実装 -	国際環境経済研究所	竹 内 純 子	Vol. 43 No. 1 - 15
アジアの視点を世界に	日本エネルギー経済研究所	山 下 ゆかり	Vol. 43 No. 2 - 1
脱炭素社会への公正で持続可能な移行	地球環境戦略研究機関	甲斐沼 美紀子	Vol. 43 No. 3 - 1
今こそエネルギーを語ろう、伝えよう	電源開発	中 山 寿美枝	Vol. 43 No. 4 - 3
『電気』のある社会を維持するために	東京都市大学	中 川 聡 子	Vol. 43 No. 5 - 1
原子力エネルギーの基礎となる放射線の情報が不足している	東京大学	中 西 友 子	Vol. 43 No. 6 - 1

(5) 展 望 ・ 解 説

第6次エネルギー基本計画とその後の展望	経済産業省	宇 野 雄 哉	Vol. 43 No. 1 - 18
これからの化学品製造	中部大学	藤 田 照 典	Vol. 43 No. 1 - 23
	三井化学	市 川 真一郎	
カーボンニュートラルに向けた太平洋セメントの取り組み	太平洋セメント	星 野 清 一	Vol. 43 No. 2 - 3
	〃	平 尾 宙	
	〃	林 康太郎	
	〃	野 村 幸 治	
	〃	上 野 直 樹	
第6次エネルギー基本計画における再生可能エネルギー導入量についての考察	電力中央研究所	朝 野 賢 司	Vol. 43 No. 2 - 9
IPCC第6次評価報告書（自然科学的根拠）の概要	東京大学	江 守 正 多	Vol. 43 No. 3 - 3
廃棄物・資源循環分野における脱炭素化と循環経済への移行	環境省	山 田 浩 司	Vol. 43 No. 3 - 7
小型モジュール炉（SMR）開発の動向と原子力機構における新型炉開発の取組	日本原子力研究開発機構	松 場 賢 一	Vol. 43 No. 4 - 5
	〃	篠 原 正 憲	
	〃	豊 岡 淳 一	
	〃	稲 葉 良 知	
	〃	角 田 淳 弥	
マイクロ波が描くカーボンニュートラルの世界 ～C NEUTRAL™ 2050 design～	マイクロ波化学	塚 原 保 徳	Vol. 43 No. 4 - 11
エネルギー分野における機械学習・AIの活用	産業技術総合研究所	小 澤 暁 人	Vol. 43 No. 4 - 16
	〃	本 田 智 則	
ウクライナ危機とエネルギー安全保障に関する欧米の動向	日本エネルギー経済研究所	下 郡 け い	Vol. 43 No. 5 - 3
液体水素の活用	前大阪大学	久 角 喜 徳	Vol. 43 No. 5 - 8
電力危機と政策的対応	日本エネルギー経済研究所	小笠原 潤 一	Vol. 43 No. 6 - 4

台湾洋上風力の政策、発展及び実況分析……………工業技術研究院	杜政勳	Vol. 43	No. 6 - 9
〃	何佳娟		
〃	連思婷		
〃	游鴻修		
〃	楊馬田		

(6) 特 集

〔特 集〕エネルギー分野におけるデジタル技術活用②（需要サイド）

(1) 特集にあたって……………東京大学	吉田好邦	Vol. 43	No. 1 - 29
	パナソニック		
(2) AIによるエネルギー需要予測……………東芝	進藤康正	Vol. 43	No. 1 - 30
	東芝エネルギーシステムズ		
〃	志賀慶明		
(3) 太陽光発電の発電予測の最近動向……………産業技術総合研究所	大場健史	Vol. 43	No. 1 - 34
〃	高松尚宏		
〃	大竹秀明		
(4) デジタル技術を用いた家庭用蓄電池……………Loop	渡邊裕美子	Vol. 43	No. 1 - 40
(5) MBD活用デジタル制御の太陽光発電・水素製造システム……………NTTエレクトロニクスクロステクノロジー	中島善康	Vol. 43	No. 1 - 44
	名古屋大学		
〃	米澤遊		
〃	宮崎大学		
〃	太田靖之		
(6) HEMSによるエネルギー需要マネジメント……………ミサワホーム総合研究所	飯島雅人	Vol. 43	No. 1 - 50
(7) スマートビル実現にBEMSが抱える課題と今後の期待……………東京大学	宮田翔平	Vol. 43	No. 1 - 55
〃	赤司泰義		

〔特 集〕持続可能なまちづくり

(1) 特集にあたって……………早稲田大学	鷺津明由	Vol. 43	No. 2 - 16
	CDP Worldwide-Japan		
(2) 脱炭素化に向けた地方公共団体の取組について……………環境省	高瀬香絵	Vol. 43	No. 2 - 17
(3) 自治体新電力の意義と課題……………ローカルグッド創成支援機構	澁谷憲治	Vol. 43	No. 2 - 20
(4) 能勢・豊能町におけるエネルギーを軸としたまちづくりへの挑戦……………能勢・豊能まちづくり	榎垣友樹	Vol. 43	No. 2 - 25
(5) 生きるを楽しむ西栗倉村の持続可能なまちづくり……………エックス都市研究所	河野有吾	Vol. 43	No. 2 - 29
(6) 進化し続ける街「みなとみらい21」……………横浜みなとみらい21	古木淳	Vol. 43	No. 2 - 34
(7) ネクステムズが宮古島で目指すカーボンニュートラルへの道……………ネクステムズ	比嘉直人	Vol. 43	No. 2 - 39
(8) 電力と交通のセクターカップリングによる地域エネルギーマネジメント -宇都宮市での取組を中心に-……………早稲田大学	石井英雄	Vol. 43	No. 2 - 44
〃	藤本悠		
〃	光岡正隆		
〃	林泰弘		

〔特 集〕再生可能エネルギーを貯蔵するための水電解水素製造技術

(1) 特集にあたって……………産業技術総合研究所	安田和明	Vol. 43	No. 3 - 12
(2) 水電解水素製造の概要とその基盤技術……………横浜国立大学	光島重徳	Vol. 43	No. 3 - 13
〃	黒田義之		
(3) 水電解水素製造技術に関する政策動向……………新エネルギー・産業技術総合開発機構	大平英二	Vol. 43	No. 3 - 18
(4) 水電解技術によるグリーン水素製造に関する最近の世界動向……………みずほリサーチ&テクノロジーズ	仮屋夏樹	Vol. 43	No. 3 - 22
〃	松田彩		
〃	米田雅一		
(5) 大型アルカリ水電解システム Aqualyzer の開発……………旭化成	内野陽介	Vol. 43	No. 3 - 27
〃	藤田泰宏		
(6) 固体高分子電解質膜 (PEM) を用いた水電解式水素発生装置……………神鋼環境ソリューション	小野田草介	Vol. 43	No. 3 - 33
(7) 高温水蒸気電解法による高効率水素製造技術……………東芝エネルギーシステムズ	長田憲和	Vol. 43	No. 3 - 37
(8) 産業技術総合研究所における水電解水素製造技術の研究開発……………産業技術総合研究所	五百蔵勉	Vol. 43	No. 3 - 41
〃	五外目清剛		
〃	小島宏一		
〃	伊藤博		
〃	岸本治夫		

〔特 集〕サーキュラー・エコノミーの今とこれから

(1) 特集にあたって……………東京大学	村上進亮	Vol. 43	No. 4 - 21
(2) EUのCircular Economy政策に関わる主要トレンド……………日本生産性本部	喜多川和典	Vol. 43	No. 4 - 22
(3) 製品設計とサーキュラー・エコノミー……………東京大学	梅田靖	Vol. 43	No. 4 - 28
(4) Product-Service Systemsの数理的モデリングに向けて……………東京大学	西野成昭	Vol. 43	No. 4 - 33
〃	木見田康治		
(5) Circularity (循環性) の評価とカーボンニュートラル……………東京大学	村上進亮	Vol. 43	No. 4 - 40
(6) EV車載電池で進むCE市場化の取り組み……………日本総合研究所	木通秀樹	Vol. 43	No. 4 - 44
(7) 太陽光発電設備のサーキュラーエコノミーに向けた取り組み……………みずほリサーチ&テクノロジーズ	小林元	Vol. 43	No. 4 - 49
〃	河本桂一		

〔特 集〕建築・都市におけるカーボンニュートラル (CN) 推進の動向

(1) 特集にあたって……………立命館大学	近本智行	Vol. 43	No. 5 - 15
	竹中工務店		
	坂口佳史		

<全体の動向>

- (2) 脱炭素社会に向けた住宅・建築行政における動向・総論……………国土交通省 今 村 敬 Vol. 43 No. 5 -16
 (3) カーボンニュートラルに向けて……………早稲田大学 田 辺 新一 Vol. 43 No. 5 -22

<環境整備>

- (4) ESG不動産投資推進のための環境整備……………千葉大学 林 立 也 Vol. 43 No. 5 -29
 (5) 建築設備におけるDXと環境整備……………東京電機大学 百 田 真 史 Vol. 43 No. 5 -33
 (6) カーボンニュートラルに人々をどのように巻き込むのかー市民参加・学生との協働ー……………千葉大学 倉 阪 秀 史 Vol. 43 No. 5 -37
 (7) ZEBからカーボンニュートラルへ……………日建設計総合研究所 丹 羽 英 治 Vol. 43 No. 5 -41

<カーボンニュートラル (CN) の取組み>

- (8) 大学が“隼より始める”脱炭素社会……………千葉商科大学 浜 島 直 子 Vol. 43 No. 5 -45
 (9) 水素を活用したカーボンニュートラルの取組み……………清水建設 下 田 英 介 Vol. 43 No. 5 -47
 (10) カーボンニュートラルに資するオフィスでのウェルネス向上の取組み……………竹中工務店 徳 村 朋 子 Vol. 43 No. 5 -49
 (11) 省エネルギーとウェルネスの両立に関する取り組みー鹿島建設社員寮建替計画を通してー……………鹿島建設 沖 林 拓 実 Vol. 43 No. 5 -51
 〃 大 西 健 一

〔特 集〕2050年のエネルギー需給への変革の方向性

- (1) 特集2050年のエネルギー需給への変革の方向性 総説……………東京大学 荻 本 和 彦 Vol. 43 No. 6 -14
 (2) 2050年のエネルギー供給：電力部門の展望……………東京大学 杉 山 昌 広 Vol. 43 No. 6 -19
 立命館アジア太平洋大学 松 尾 雄 司
 自然エネルギー財団 木 村 誠一郎
 産業技術総合研究所 櫻 井 啓一郎
 日本原燃 田 中 治 邦
 電力中央研究所 永 井 雄 宇
 京都大学 安 田 陽
 (3) 2050年のエネルギー需要の姿……………東京大学 岩 船 由美子 Vol. 43 No. 6 -26
 エネルギー総合工学研究所 黒 沢 厚 志
 (4) エネルギー変革期におけるレジリエンスの確保……………成城大学 平 野 創 一 Vol. 43 No. 6 -32
 ENEOS 古 關 恵 一
 (5) 2050年カーボンニュートラルに向けた今後の取組の方向性……………三菱総合研究所 井 上 裕 史 Vol. 43 No. 6 -37
 (6) 座談会：エネルギー変革に向けた取り組み……………滋賀県立大学 白 木 裕 斗 Vol. 43 No. 6 -42
 東京電力ホールディングス 戸 田 直 樹
 立命館アジア太平洋大学 松 尾 雄 司
 京都大学 諸 富 徹
 (司会) 東京大学 杉 山 昌 広

(7) シ リーズ 特 集

明日を支える資源 (177)

- 鉛の特性とその用途および国内循環における鉛二次精錬業の位置付け……………大阪鉛錫精錬所 道 本 龍 彦 Vol. 43 No. 2 -49

明日を支える資源 (178)

- 資源としての窒素利用……………三菱UFJリサーチ&コンサルティング 片 桐 究 Vol. 43 No. 4 -55

明日を支える資源 (179)

- ニッケルの現在・将来のクリティカリティ評価と電池での代替可能性……………京都大学 Benjamin C. McLellan Vol. 43 No. 6 -51

(8) 研究論文要旨

- 再エネ導入拡大を考慮した需給運用および系統増強に関する協力ゲーム理論による分析……………東京大学 奥 山 雄 太 Vol. 43 No. 1 -60
 〃 松 橋 隆 治
 地域別家庭CO₂排出量の推定手法の開発：地域別環境政策立案にむけて……………早稲田大学 鷲 津 明 由 Vol. 43 No. 1 -61
 日本福祉大学 中 野 論
 住宅エネルギー消費の6用途分解と再生可能エネルギー利用量の推定……………熊本県立大学 田 中 昭 雄 Vol. 43 No. 1 -62
 再生可能エネルギーと原子力を用いた水素コジェネレーションの経済性評価……………京都大学 田 中 仁 海 Vol. 43 No. 2 -55
 〃 池 田 裕 一
 洋上風力発電の出力変動を考慮した世界エネルギーモデルによるカーボンニュートラル実現可能性に関する分析……………東京大学 吉 武 宗 浩 Vol. 43 No. 2 -56
 〃 藤 井 康 正
 〃 小宮山 涼 一
 自動車部門における統合対策を考慮した長期CO₂排出量推計手法の開発……………日本自動車研究所 金 成 修 一 Vol. 43 No. 2 -57
 〃 平 井 洋
 〃 鈴 木 徹 也
 〃 伊 藤 晃 佳
 中国の消費者による電気自動車属性の重要度評価……………九州大学 吉 田 謙太郎 Vol. 43 No. 3 -48
 東北大学 井 元 智 子
 〃 趙 心 童
 〃 殷 子 鈞
 日本国内における最適電源構成と組み合わせた水素製造・メタン合成技術の経済性評価……………東京大学 田 原 聡 史 Vol. 43 No. 3 -49
 〃 藤 井 康 正
 〃 小宮山 涼 一
 電気自動車ユーザーはどのようなタイミングで航続距離不安を感じ充電したいと思うか？……………大阪大学 上 田 嘉 紀 Vol. 43 No. 3 -50
 〃 太 田 豊
 日本における電動車の普及メカニズムの解明と導入拡大対策に関する計量経済分析……………長岡技術科学大学 中 野 優 人 Vol. 43 No. 3 -51
 〃 李 志 東
 家庭CO₂統計に基づく戸建て住宅の電力消費と太陽光発電の実態……………豊田中央研究所 山 田 洋 行 Vol. 43 No. 3 -52

日走行距離分布と電気自動車の電池容量を考慮した急速充電頻度の評価……………東京農工大学	山田哲	Vol. 43	No. 3 - 53
変動性再生可能エネルギー大量導入時の限界システムLCOEの評価方法に関する検討……………立命館アジア太平洋大学	秋澤淳		
J-POWERビジネスサービス	松尾雄司	Vol. 43	No. 4 - 59
〃	磯永彰		
〃	東仁潔		
〃	福留潔		
〃	岩船由美子		
〃	荻本和彦		
電気自動車および双方向給電が住宅エネルギーシステムの経済的最適技術構成に与える影響……………東京農工大学	東谷拓弥	Vol. 43	No. 4 - 60
〃	池上貴志		
〃	秋澤淳		
PV出力変動対応のためのPV出力予測誤差統計データに基づくLFC容量動的決定手法……………福井大学	西田啓人	Vol. 43	No. 4 - 61
〃	重信颯人		
〃	伊藤雅一		
〃	北陸電力 金尾則一		
〃	杉本仁志		
共食い効果を考慮した太陽光・風力発電の導入評価モデルの検討……………日本エネルギー経済研究所	尾羽秀晃	Vol. 43	No. 4 - 62
〃	遠藤聖也		
〃	立命館アジア太平洋大学 松尾雄司		
〃	JERA 玄海亨輝		
〃	長尾吉輝		
需給調整市場に参入する水電解装置を有するマイクログリッドの運用に関する検討 ー実績の三次調整力取引価格の時系列データに基づくコスト評価ー……………名古屋工業大学	中村勇太	Vol. 43	No. 4 - 63
〃	青木睦		
〃	旭化成 加戸良英		
〃	富士電機 壹岐浩幸		
カーボンエネルギー概念のCO ₂ 排出量および化石燃料消費の削減への応用……………電力中央研究所	山本博巳	Vol. 43	No. 4 - 64
気候変動対策を考慮したミャンマーの最適電源構成と国際連系線に関する評価： コスト最小化モデルを用いた定量分析……………日本エネルギー経済研究所	碓井良平	Vol. 43	No. 5 - 53
〃	元日本エネルギー経済研究所 飯野友美子		
〃	立命館アジア太平洋大学 松尾雄司		
2050年に向けた最適電源構成の検討 ー原子力と水素価格のマクロ経済影響を加味した定量分析ー……………日本エネルギー経済研究所	岡林秀明	Vol. 43	No. 5 - 54
〃	太田啓介		
〃	立命館アジア太平洋大学 松尾雄司		
不確実性の高いエネルギー供給と複数需要家に対する電力需給の負荷平準の検討……………東京理科大学	桶屋太志	Vol. 43	No. 5 - 55
〃	得田大悟		
〃	近藤凌平		
〃	片山昇		
〃	戸田建設 渡辺隆弘		
〃	栗木茂		
〃	東京理科大学 堂脇清志		
世界エネルギーモデルによる感度分析を用いた相変化型大気中CO ₂ 直接回収技術の導入可能性の評価……………東京大学	古川慶人	Vol. 43	No. 6 - 57
〃	小宮山涼一		
〃	藤井康正		
電力小売事業者における蓄電池と電解装置の協調運転とJEPX価格変動リスク回避に関する研究……………東京大学	松原雅	Vol. 43	No. 6 - 58
〃	吉岡剛		
〃	松橋隆治		
電力市場入札価格およびスパイク予測の計算手法について……………Loop	菅沼敏幸	Vol. 43	No. 6 - 59
〃	渡邊裕美子		
太陽光・蓄電池システムの平常時運用と非常時運用における停電回避価値を考慮に含めた経済性評価……………筑波大学	太田哲平	Vol. 43	No. 6 - 60
〃	秋元祐太郎		
〃	岡島敬一		
エネルギー・リソース・アグリゲーションにおけるインセンティブの設定方法に関する検討……………岐阜大学	山崎丸輝	Vol. 43	No. 6 - 61
〃	高野浩貴		
〃	浅野浩志		

(9) 技術論文要旨

複数アプリケーション共存環境下のDER操作に関する実験報告……………東京大学	馬場博幸	Vol. 43	No. 3 - 54
〃	荻本和彦		
〃	名古屋大学 今中政輝		
〃	東京電力ホールディングス 天津孝之		
〃	増田浩		
〃	IoT-EX 柳川大直		
簡易数学モデルによるロータリーキルン内固形装入物の伝熱・反応シミュレーション……………豊栄商会	小出俊介	Vol. 43	No. 5 - 56
〃	水野一等		
〃	東北大学 山口一良		
〃	桒上洋		
〃	長坂徹也		

浮体式洋上太陽光発電と水素エネルギーキャリアを用いたカーボンフリーエネルギー供給システム

ー気温上昇1.5℃未満のパリ協定目標達成を目指してー……………東京電機大学 小林 浩 Vol. 43 No. 6 -62

(10) 研究者・実務者のためのエネルギー・資源講座

<連載：カーボンリサイクル①>

カーボンリサイクルとは？……………エネルギー総合工学研究所 小野崎 正 樹 Vol. 43 No. 1 -63

<連載：カーボンリサイクル②>

CO₂からの燃料の製造……………エネルギー総合工学研究所 水 田 美 能 Vol. 43 No. 2 -58

<連載：カーボンリサイクル③>

CO₂からの化学品の製造……………エネルギー総合工学研究所 塙 雅 一 Vol. 43 No. 3 -55

<連載：カーボンリサイクル④>

CO₂の炭酸塩化による固定……………エネルギー総合工学研究所 酒 井 奨 Vol. 43 No. 4 -65

<連載：カーボンリサイクル⑤>

カーボンリサイクルによる国際エネルギーシステム……………エネルギー総合工学研究所 橋 崎 克 雄 Vol. 43 No. 5 -57

<連載：カーボンリサイクル⑥>

カーボンリサイクルを進めるために……………エネルギー総合工学研究所 小 俣 浩 次 Vol. 43 No. 6 -63

(11) 歴史の散歩道

(35) 日本の水電解研究開発の黎明期ーサンシャイン計画秘話ー……………元産業技術総合研究所 竹 中 啓 恭 Vol. 43 No. 3 -60

(36) 日本の電気事業体制の変遷① 起業者達による民有民営電気事業の創業……………電力ジャーナリスト 中 井 修 一 Vol. 43 No. 4 -70

(37) 日本の電気事業体制の変遷② 電気事業の急成長と「電力戦」……………電力ジャーナリスト 中 井 修 一 Vol. 43 No. 5 -63

(38) 日本の電気事業体制の変遷③ 電力国家管理への道……………電力ジャーナリスト 中 井 修 一 Vol. 43 No. 6 -69

(12) 見 聞 記

バイオマス発電所から排出されるCO₂を分離回収するBECCS対応設備の見学……………エネルギー総合工学研究所 加 藤 悦 史 Vol. 43 No. 2 -63

COP26：再開した国連気候変動交渉……………電力中央研究所 堀 尾 健 太 Vol. 43 No. 3 -64

福島第一、第二原子力発電所等の見学会……………三菱電機 光 田 憲 朗 Vol. 43 No. 4 -74

第40回 International Energy Workshop (IEW)……………東京大学 小宮山 涼 一 Vol. 43 No. 5 -68

第43回国際エネルギー経済学会参加記……………日本エネルギー経済研究所 土 井 菜保子 Vol. 43 No. 6 -73

(13) 活 動 報 告

エネルギー・資源学会サマーワークショップ2022に参加して……………秋田大学 渡 辺 樹 Vol. 43 No. 6 -76

(14) 書 評

脳と森から学ぶ日本の未来……………Vol. 43 No. 1 -68

East Asian Low-Carbon Community-Realizing a Sustainable Decarbonized Society from Technology and Social Systems……………Vol. 43 No. 1 -68

資源争奪の世界史 スパイス、石油、サーキュラーエコノミー……………Vol. 43 No. 2 -64

エネルギー産業2030への戦略 Utility3.0を実装する……………Vol. 43 No. 2 -64

亡国の環境原理主義……………Vol. 43 No. 3 -67

データドリブン脱炭素経営ーエネルギー効率の指標化によるグリーン成長戦略ー……………Vol. 43 No. 3 -67

鬼の血脈 ～「電力人」135年の軌跡～……………Vol. 43 No. 3 -68

Dilemmas of Energy Transitions in the Global South : Balancing Urgency and Justice……………Vol. 43 No. 4 -77

カーボンニュートラル2050アウトルック……………Vol. 43 No. 4 -77

グリッドで理解する電力システム……………Vol. 43 No. 5 -70

都市の脱炭素化……………Vol. 43 No. 5 -70

エネルギー資源と日本外交ー化石燃料政策の変容を通して 1945年～2021年ー……………Vol. 43 No. 6 -79

元素のふるさと図鑑……………Vol. 43 No. 6 -79

(15) 技術・行政情報

グリーンイノベーション基金事業第1号……………産業技術総合研究所 安 田 和 明 Vol. 43 No. 1 -69

カーボンニュートラルにおける原子力の役割……………三菱総合研究所 福 田 桂 Vol. 43 No. 2 -65

電気事業における市場リスクマネジメントに関する指針……………電力中央研究所 遠 藤 操 Vol. 43 No. 3 -69

蓄電池に関するグリーンイノベーション基金事業……………産業技術総合研究所 安 田 和 明 Vol. 43 No. 4 -78

節ガス対策に関する検討について……………三菱総合研究所 福 田 桂 Vol. 43 No. 5 -71

英国の「エネルギー安全保障戦略」における原子力発電……………電力中央研究所 稲 村 智 昌 Vol. 43 No. 6 -80

(16) 談 話 室

「脱炭素」という言葉への違和感……………大阪大学 安 田 誠 Vol. 43 No. 1 -70

オンライン講義……………東芝エネルギーシステムズ 斎 藤 聡 Vol. 43 No. 2 -66

日本の公平なエネルギー移行……………京都大学 Benjamin C. McLellan Vol. 43 No. 3 -71

良質の削減クレジットを生かすために……………CDP Worldwide-Japan 高 瀬 香 絵 Vol. 43 No. 4 -79

発想の転換……………横浜国立大学 吉 田 聡 Vol. 43 No. 5 -72

年長者よ、若者から学ぼう……………立命館大学 近 本 智 行 Vol. 43 No. 6 -82